

鳴門支店

料金後納郵便



エムアイシーレター

Vol.17 2015年 春号

エムアイシーレターでは、弊社にて保険にご加入いただいているお客様やホームページを制作させていただいているお客様、その他筆者の友人知人の方々の生活に役立てていただけるような情報をお届けします。保険の営業マンならではの観点で、地域の安心と発展を心から願い、仕事や活動を通じて、地元である大好きなこの町「鳴門」に微力ながら貢献していきたいと考えています。

つ、硬い冒頭ですがどーぞ気軽に読んでやってください(笑)



▲32歳の誕生日に嫁さんからビジネスバッグ(大道銀天街のトガワかばん店にて購入)をプレゼントしてもらいました。

【筆者 丸宮 朋 プロフィール】

鳴高を出て、香川大学を卒業し、関西での勤務後地元鳴門へ戻ってきました。鳴との門の運営を始め、Facebookやブログ、Twitter等で鳴門の情報を発信したり、鳴門商工会議所青年部主催のテレビ鳴門の番組「ワイワイYEG」にも出演中。基本的に超楽観主義で、じっとしているのが大の苦手。自称愛妻家。

株式会社エムアイシー 専務取締役
鳴門商工会議所青年部 副会長
徳島県損害保険代理業協会 広報委員長
損害保険トータルプランナー
シニア・ライフ・コンサルタント

目 次

- ・あいさつ
- ・鳴門総合情報サイト「鳴との門」告知コーナー ・・・ 1P
- ・保険にまつわる話① 強風の時によく起こる事故
- ・保険にまつわる話② 生命保険を選ぶ際に気をつけたい3つの特徴
- ・車を少しでも高く売りたいとお考えの方に ・・・ 2P
- ・保険にまつわる話③ 新生活応援企画
- ・鳴との門運営スタッフがオススメする鳴門の一品 美味フーツの生ドレッシング ・・・ 3P
- ・鳴門の人(もん) 西山博文fromリビング鳴門広報社
- ・プレゼント企画 ・・・ 4P

平成27年4月になりました。

早いもので大学を卒業してから社会人となり丸10年の年月が経ちまして、気が付けば父親になっているという驚き！

あ、ご報告遅れましたが**4月6日をもちまして父親になりました。**

少し頭が大きいため難産となりましたが、きっとそれは**父親似で脳みそがいっぱい詰まっている**のでしょう(笑)

冗談はさておき、約28時間もの陣痛に耐え抜き、3436gの大きな命を産んでくれた嫁さんにはほんまに感謝です。

陣痛が来た時から分娩までずっと苦しみ続ける姿を隣で見続けていただけに、産まれてくれた瞬間は夫婦で嬉しすぎて全く声が出ず、涙が止まり

ませんでした。

Facebookでいただいたコメントから拝借させていただきますが、**責任も倍になりますが頑張りがいも倍になります**ので、益々仕事に励み、家族を大切に良いパパ、良い人間になれるよう精進していきます！

ところで鳴門市のマーク(鳴門市章)って、鳴門の渦潮をイメージし、限りない躍進と発展、円満を表すって皆さんご存知でしたか？

「鳴門に本社を置く会社って限りなく躍進&発展&円満なんじゃね？」と、たまたま知った瞬間めっちゃテンション上がりました！

株式会社エムアイシーは来月の5月1日で設立24年目を迎えます。

ただし、平成12年(1999年)9月1日に徳島市の佐古から地元である鳴門に本社移転をしましたので、実質鳴門ではまだ15年目の会社です。

今後はより一層地域に根差し貢献できる会社となるよう、**鳴門の様々な方とコラボレーションをしながら地域のためになる新しい企画や化学反応を考え、限りなく躍進と発展と円満をもたらす会社を目指していきたい**と考えています。

そんな同じベクトルをお持ちの経営者様がいらっしゃればお声かけください！

さあ、それではエムアイシーレター Vol.17 2015年 春号をお届けします(^^)/

鳴門総合情報サイト「鳴との門」告知コーナー

今年は開通当時「東洋一のつり橋」「夢の架け橋」と呼ばれた**大鳴門橋**が昭和60年6月8日に開通して30周年を迎えます。

そして明石海峡後の鳴門は神戸まで車で50分、大阪までは80分程の所要時間から、徳島・四国を代表する観光地であり、鳴門で住む僕らにとっても**すごく便利で住みやすい町**です♪

こんなに風光明媚で京阪神へのアクセスが良く、空港へも近い鳴門にもっとたくさんの方が住んだらええのになーとつくづく思います！

さて、この度屋間はラーメン屋 辰

家の店主が昨年の12月にオープンしたお店「Dining Bar灯」様が新スポンサーになってくださいました。ありがとうございますm(_)_m

25時までオープンしているのがありがたいですし、どの料理も美味しいですが、**是非オススメのローストビーフを一度召し上がってください**(^~^)

スポンサー様には弊社ホームページメンテナンス業務と同様、**小さな変更点**から新商品販売開始や新サービス開始などの情報を素早く更新及び発信させていただき、鳴門市内で圧倒的なアkses数を誇るウェブサイト(鳴との

門)を通じて、御社の広報担当として色々とご尽力させていただきます。

鳴との門はスポンサー費用を中心に運営させていただいているため、地域貢献としてご協力いただきますよう何卒宜しくお願い致します。

